

2026年3月24日

ヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom」を 福島県に提供し、 新たなふくしま健民アプリとして健康増進を支援

株式会社ディー・エヌ・エーのヘルスケア事業の中核を担う株式会社データホライゾン（本社：広島県広島市、代表取締役社長兼CEO：瀬川翔）の子会社、DeSCヘルスケア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：瀬川翔、以下DeSCヘルスケア）は、2026年3月24日（火）より福島県の委託を受け、県内に住民票を有する方を対象に「楽しみながら、健康に。」を実現するヘルスケアエンターテインメントアプリ「kencom®」を「ふくしま健民アプリ by kencom」として提供を開始します。



■ 福島県の健康課題と導入の背景

福島県は、厚生労働省の統計において**肥満者（BMI25以上）の割合が男女ともに全国ワーストに近い水準で推移**しています。また、**心疾患、脳血管疾患による死亡率が全国平均を大きく上回る**など、生活習慣病の重症化予防が喫緊の課題となっています。

こうした背景を受け、福島県では「第三次健康ふくしま21計画」を策定し、県民一丸となった健康づくりを推進しています。本事業では「kencom」を導入することで、これまで健康に関心の薄かった層（無関心層）へもアプローチし、歩数や健診結果の可視化、ポイントプログラム等を通じて、県民の自発的な健康行動への変容と継続をサポートします。

■ 「kencom」による課題解決のアプローチ

「kencom」は、オンラインウォーキングイベント「みんなで歩活（あるかつ）」を通じて、地域や家族、友人同士でのコミュニケーションを楽しみながら運動習慣を身につけるきっかけを提供します。「ふくしま健民アプリ by kencom」は、福島県に適したカスタマイズを施し、福島県の豊かな食をおいしく味わい、見える化する「食事管理機能」やアプリ内の記事配信等を通じて減塩や適切な食生活への意識改善を促します。さらに、アプリから得られた歩数データや健康状態の推移を分析・活用することで、福島県の地域特性に合わせたより効果的な健康増進施策の立案に繋がっていきます。

■ kencomについて

「kencom」は、2015年のサービス開始以来、愛媛県、鹿児島県、宮城県等の自治体をはじめ127団体、約840万人以上に提供されています。ゲーム開発のノウハウを活かしたキャラクター育成機能「エアモ」や、ミッション達成でポイントが貯まる仕組みなどにより、登録から5年以上経過したユーザーの継続率は約65%という高い水準を維持しています。

今後ともDeSCヘルスケアは、「kencom」の提供等を通じて「楽しみながら、健康に。」を実現し、健康寿命の延伸、医療費適正化の課題解決に貢献していきます。